

あさやけ

七夕



七夕飾りと短冊の作成をしました。
七夕の飾りつけは六日の夜が一般的で七日の夜には飾りを外します。かつては取り外した飾りなどを海や川などに流し、神様に持ち去って頂くという「七夕送り」の風習がありました。
七夕飾りは、一枚一枚色紙を選び貼り付け吹き流しを作成しました。
短冊に願い事を書き、星にたくしました。
入居者様の中には、ご自分の短冊を見つけると職員に、自分のだと教えて下さる方や完成した笹飾りを見て「綺麗ね」とおっしゃる方もいました。
七夕に降る雨を催涙雨(さいいるい)といいますが、一年ぶりに会うことができた織り姫と彦星が、「嬉しくて流した涙」である、という説があるそうです。
今年の七夕は、天候に恵まれ、星がよく観えたと思います。みなさんの願い事がたくさん届きますように。

これ、俺のだよ!

↑七夕の飾りつけに取り組んで頂きました。

老人福祉センター つつじ荘での活動

六月二十七日、つつじ荘の依頼で、アコモード職員による経口補水液の実演と介護予防体操の一つとして口腔体操を行いました。
水分摂取の大切さを伝える講話の後、実際にご家庭で入手できる材料で経口補水液を作り、試飲してもらいました。

「甘じょっぱいね」とか、中には「美味しいね」と言われる方もいて、脱水気味なのかなと心配してしまいました。健康な時にはしょっぱく感じても、脱水状態時などの時は飲みやすく感じることもあるそうです。
その後、お食事を美味しく、安全に召し上がって頂く為、口腔体操を行いました。
キラキラ星の曲に乗って「パパババ・パパババ」とパタカラ体操、「生麦生米」と早口言葉、吹き戻しで腹式呼吸を行って頂きました。
「吹き戻しはきついいね」と言いながら、皆さん、真剣な表情で取り組まれていました。



七月誕生会

國分 君江様 九十二歳

お誕生日おめでとーございます。



今月のお祝いケーキです！



山崎幸世様 68歳



海老原春子様 77歳



石井千代様 96歳



渡部ミツエ様 78歳



藤村幸雄様 84歳



牧野怜子様 89歳

食中毒

☆暑い季節には欠かせない食中毒対策☆

《知っておきたい食中毒予防の三原則》

- 一・「つけない」…手をよく洗う。
- 二・「増やさない」…食品の保存に気をつける。
- 三・「やっつける」…加熱・殺菌処理。

こんな症状がでたら早めの受診を

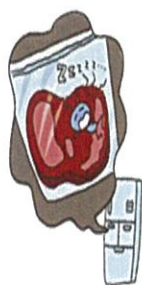
多くの食中毒は、細菌・ウイルスが体内に入った一〜二日後に起こりますが、細菌の種類によっては、食後三十分程度で起こることも、逆に一週間程経ってから起る場合もあります。嘔吐や下痢、発熱など、体調不良がある場合は早めに受診しましょう。

*職員一同、食中毒対策に努めております。
六月〜九月末までの期間は、食中毒予防強化月間とさせていただきます。ご協力お願い致します。

やっつける



増やさない



つけない



〈家庭でできる経口補水液の作り方〉

- 水……………1 L
- 砂糖……………40 g (大さじ4と1/2杯)
- 塩……………3 g (小さじ1/3杯)
- レモン果汁……25~50cc (大さじ1.5~3)

*冷すと飲みやすいですが、凍らせないでください。
水の25倍・大手スポーツ飲料の約10倍の吸収率です！



こまめな水分補給を心がけましょう。

あとがき
今年、猛暑が続いている為か、熱中症や脱水の話がよく聞かれます。今月号に経口補水液の作り方を掲載しましたので、ご家庭での水分補給にご利用ください。これからも暑い日が続きますが、お体に気を付けてお過ごしください。

広報委員 宮田 豊



8月の予定
理髪
8月13日
21日

誕生会
8月22日
2階寮母室前にて
14時~行います。
時間お間違えないよう
お越しください。
職員一同、
お祝い致します。

